

2022年度生産性向上支援訓練コース内容

主催：滋賀職業能力開発促進センター

コース番号	054	訓練分野	IT業務改善-データ活用
コース名	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 (Excel上級)		
正式名称	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 ※上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。助成金申請の際には「正式名称」を記載して申請してください。「コース名」は受講者募集用に設定した名称です。		
開催日時	2023/3/2・2023/3/3 [2日間] 9:30~16:30 (昼休憩 12:30~13:30)		
会場	キャリアプラザビット滋賀本校 (栗東市)		
対象者	Excelの機能を使って繰り返し作業を効率化したい方 ●IF関数の条件分岐がわかる方 ●マクロを使ったことがない方、使い始めて日が浅い方 ●マクロを使って、定型業務を効率化したい方 ※「コース番号」の一文字目が「S」のコースは、申込時45才以上の方が対象ですが、45才未満の方も受講いただけます。		
習得するスキル等	●定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法		
ポイント	Excelは業務で使っているが、マクロを使ったことがない方、苦手な方にお勧めのコースです。VBAの入門的な内容も学習します。		
内容	<p>1 マクロの基本知識</p> <p>(1) マクロ記録【演習】 マクロの記録機能を用いてマクロ記録の一連の流れを体験</p> <p>(2) VBAとは プログラミング言語について</p> <p>(3) プログラム開発環境 (VBE) とは VBEの起動、記録したマクロの確認、画面構成</p> <p>(4) プログラミング作業の流れ マクロの構成、コードの編集 (入力、削除、コピー)、コンパイル、動作チェックの一連を操作し確認する。</p> <p>2 基本文法</p> <p>(1) モジュールとプロシージャ マクロを構成する基本的な要素について</p> <p>(2) プロパティ・メソッド・オブジェクト ステートメントを構成する要素について</p> <p>(3) 基本文法に沿ったマクロの作成【演習】 シートの選択、シートの挿入、シートの削除、画面表示切替、罫線の作成、図形の表示・非表示、特定範囲の選択 (絶対指定・相対指定)</p> <p>3 制御文法</p> <p>(1) 変数 変数名、データ型、値の代入について</p> <p>(2) 条件分岐処理 If-Then-Else構文等、条件分岐処理について</p>		

	(3) 繰り返し処理 For-Next構文等、繰り返し処理について (4) プログラミング作業の流れ VBAを用いた請求書作成プログラムを作成する。 (5) デバッグ (動作確認) 自動構文チェック、コンパイル、ステップモード、ブレークポイント		
実施機関	株式会社ビット		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
ソフトウェア	Excel2016あるいはExcel2019	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品	筆記用具	市販テキストにオリジナルテキストを組み合わせ、すぐに職場で活用できる、丁寧でわかりやすい授業の提供に努めております。	
備考	無料駐車場は開講3日前までに予約が必要です。		